



去る九月二十日(二十一日、秋彼岸会・朝の人生講座が勤められました。講師・講題は以下の通り。二十日晨朝 草間度氏(第十二組 勝覺寺)「お荘嚴からみえてくるもの」。速夜東



護塚史氏(第十九組 改觀寺)「三途の海」。二十一日晨朝 富沢采昌氏(第二十一組 超願寺)「ブラジルとお念仏」。日中・速夜 渡邊 豊氏(第二十三組 光圓寺)「ゆび人形劇法話「信は力」。二十二日晨朝 小林智光氏(第十二組 浄照寺)「蓮如さんのこころ」。日中 藤波法英(教区駐在教導)「暑からず寒からず、仏法修行のよき時節」。二十一日は永代経総経と渡邊氏のゆび人形劇法話。身近な家庭問題などを題材にした、素朴でありながら情感にあふれる法話を聞いていると特別なことが何もおこらない日常が、すでに仏法聴聞の場なのだとということが感じられます。



【渡邊氏(左上)、草間氏(右上)  
小林氏(左中)、東護氏(右中)  
藤波氏(左下)、富沢氏(右下)】

女性僧侶による助音方習礼がはじまりました

二〇一一年より、教区内女性僧侶が報恩講お待ち受け音楽法要の助音方を勤めています。六年目となる本年も、第一回の習礼が終わりましたが、まだまだ多くの出仕者を募っています。多くの助音方で音楽法要を荘嚴したいと存じますので、まずは習礼に参加してみてください。

【習礼】

- ◆講師 永寶 晴香氏(第十組 浄敬寺)
- ◆日時
- ①九月二十九日(木) 午後一時三十分～三時三十分(済)
- ②十月七日(金) 午後一時三十分～三時三十分
- ③十月二十四日(月) 午後二時～五時 (三時よりリハーサル)
- ④十月三十一日(月) 午後一時三十分～三時三十分

報恩講儀式作法講習会のご案内

お取り越し報恩講をお迎えするにあたり、内陣所作・出退作法について講義・習礼を開催いたします。みなさま是非ご参加ください。

- ◆日時 十月十七日(月) 午後二時～四時
- ◆場所 三条別院旧御堂及び本堂
- ◆内容 報恩講における出退作法・内陣所作の講義・実技
- ◆講師 安藤采寿氏 (第二十一組 勝樂寺住職・元本山定衆)

◆申込 既送の報恩講のお知らせ(緑色封筒)に同封のハガキに必要事項をご記入いただき、十月十四日(金)までに二返送ください。※装束等の詳細は案内チラシ(緑色封筒内)参照。

宗祖御命日のつどい

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げております。  
なお、前日(二十七日)はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めしております。

- ◆日時 十月二十八日(金) 午前十時より
- ◆会場 三条別院 本堂
- ◆お勤め(御命日 日中法要)
- 文類偈 行四句目下
- 念仏讚 洵五
- 和讃 回口 次第六首
- 回向 願以此功德

◎今月の法話講師

木村 邦和氏(第十三組 専行寺)

— 『歎異抄』に聞く【第十章】 —



◆今後の講師一覧

- 十一月 永寶 卓氏(第十組 浄敬寺)【第十一章】
- 十二月 石塚祐堂氏(第十五組 長泉寺)【第十二章】

# 定 例 法 話 会

毎月十三日の前門首のご命日(両度の命日)に行っている定例法話会を左記の通り開催いたします。

◆日 時 毎月十三日 ※八月、一月は除く  
午後一時三十分より(一時間程度)

◆場 所 三条別院 旧御堂

◆講 師

「ゼロからわかる真宗入門」

十月 松浦 寿公 ②本願

十一月 森尻 唯心 ③信心

十二月 藤井 淳 ④浄土

◆九月から十二月は三条別院別座が「ゼロからわかる真宗入門」として四つの要諦を講題として法話します。

## そ の 他 の 講 座 案 内

### ○別院声明教室(全五回・途中参加可能)

〔月一回、午後六時～八時〕

八月十八日(木)〔済〕、九月十五日(木)〔済〕、十月十三日(木)、十一月十七日(木)、十二月十五日(木)

講習内容 真宗大谷派勸行集(赤本) (八・九・十一・十二月)

讃歌(赤本、および音楽法要の歌曲) (十月)

講 師 永寶 晴香氏(第十組浄敬寺) (八・九・十一・十二月)

白鳥 道子 氏(第十五組本龍寺) (十月)

参加費 五〇〇円/回

### ○別院書道教室

〔月二回第一、第四水曜日、午後六時三十分～八時〕

講師 木原光威氏(新潟県書道協会理事)  
月謝 二七〇〇円(テキスト代含む)

## 随 時 募 集 中

### ○三条別院巡回

三条別院の御影をお迎えして、開法会を開催しませんか?

### ○別院奉仕研修

日程及び内容についてはご相談ください。

◎冥加金 日帰り一五〇〇円、一泊二日二五〇〇円

◎食事代(昼・夕食は業者発注)

・朝食代 五〇〇円、昼食代 一〇〇〇円程度

・夕食代 一三〇〇円程度

### ○庭講(清掃講)

二〇一五年九月に結成されたお講です。現在講員大募集中です。ぜひ、御一緒に清掃奉仕と十三日の定例法話の聴聞をしませんか!

### ○三条別院有志の会

もともと三条別院のお朝事にお参りしているご門徒からはじまった清掃奉仕・法話・座談を中心とした有志の会です。月一回の例会、別院行事に併せた奉仕活動や季節ごとの懇親会を行っております。

### ■お取り越し報恩講ポスター・チラシ 訂正とお詫び

九月十三日付で発送した報恩講のお知らせ(緑色封筒)に同封の報恩講師紹介ポスター・チラシにおいて、訂正点がありましたので、お詫び申し上げます。

絵解き法話の榊野明仁氏の紹介文において、「名古屋教区第11組本達寺住職」と記載されていましたが、正しくは「岡崎教区第11組本達寺住職」です。

### ◆◆編集後記◆◆

暑い夏が終わり、九月に入るとお取り越し報恩講の足音が聞こえるように感じる。書記の業務も他の業務と並行してお取り越し報恩講の準備に取り掛からなければならぬ。本年の九月は、お取り越し報恩講執行のための事務作業のほかに、秋彼岸会法要や、立花講習、そして別院職員として落慶法要にお招きいただくなど非常に濃密な時間を過ごした。そのためか恐ろしい速度で日常が過ぎ去ってゆく。

私は、仕事を含め、人生の様々な場面で物事に優先順位をつけながら生活している。Aは締め切りが今日までだから、今月末までの余裕があるBは後でやろうと、朝は一日における優先順位をつける時間だ。順位をつけられない、判断できないできない事柄がある場合は、なるべく他人と相談し物事を進めている。

しかし時には他人に相談したくない上に、苦痛を伴うためどうしても順位をつけられない、順位をつけたくない、順位を限りなく最下位に持っていきたい事柄がある。あまり考えたくないで放置する場合もあるし、時には無理やり切り捨てる場合もある。優先順位は苦しみであり、私の内面に起因しているのが厄介である。いつまで優先順位をつけ続けなければならないだろうか。

真宗は私が優先順位をつける以前に存在している。三条別院の伽藍もそうである。お取り越し報恩講は私が優先順位をつけるか否かに関わらず執行される。今年のお取り越し報恩講は、優先順位をつけながら生きなければならない私に何を問うのだろうか。

(森尻)